

踊っているときは極楽です

渡辺 トラさん

今、民謡が静かなブームを呼んでいるという。黒埼祭りの民謡流しには町内から約二千人が参加し、年々増加しつつあるし、公民館でも愛好者の利用が増えている。

踊れることが楽しくて、極楽でした。戦後、青年会でも踊りたくれば渡辺さんの独演場だった。

結婚後、育児のためダンスから足を洗ったが、学芸会の子供と一緒に舞台上に立つたら「足が動

き始めた」というからホンモノである。それから踊る人生が再び始まった。ただし、今度はダンスでなく民謡である。

「民謡ブームの功績者ともいべき人が渡辺トラさんである。渡辺さんから踊りを習った人はどれくらいになるだろうか。二十年前から町内の公民館や団体で講習してきた。

「教えるってほどのものではないんです。わたしは踊りしか能がありませんから、頼まれれば断れなくて」と渡辺さん。今も婦人会など四団体に招かれ、月十日間は講習で忙しい。小さいころから踊ることが好きだったというが、本格的に始めたのは新潟女学校（今の中央高校）に通っていたころ。戦事中にもかかわらず、新潟市でモダンダンスを踊っていた。「モガってほどのものではありませんでしたけど、



日本舞踊、千代の舞扇を演じる渡辺さん

「育児と商売が忙しくてそれどころじゃなかったんですが、いくら疲れていても、好きなんですよ。ね。行くんですよ。主人もよく許してくれました。今になつて感謝しています。」

最近、民謡のほかに日本舞踊を始めている。「今反省してるんです。日本舞踊を習い始め、四、五年前から民謡もある先生から教えていただいたるんですが、今まであまりにも我流でなかったかと。やつと踊りの難しさがわかったようなんです」と言いながらも「ほんととは若ければドイツスコやジャズダンスにも挑戦したいんです」とまだまだお若い渡辺さんである。

*訂正

広報四月号で左記の二点を誤まつてしまい訂正しおわび申し上げます。

- 表紙の右上「佐藤順子さん」を「佐野順子さん」に。
- 十一ページの木下富代さんの俳句「孫の去るや、雛の太刀のぬかれを」を「孫去るや、雛の太刀のぬかれを」に。

*休載

今号で町かど、ニュース足報、黒埼町の今昔を休ませていただきました。短歌、俳句、ニュースは五月十五日号に、投稿は六月号に掲載いたします。

謀業室

4月25日ごろ、昭和61年発行の百円玉を捜し回っていたのはこの私です。銀行、商店街の皆さんご迷惑をおかけしました。でも、結局なかつたせい。

●今号の表紙

ご協力に感謝
行政改革時代変貌論?—NTTの渡辺局長「百年に1回の大改革」と。谷さんは「昔に比べて食費が減ったかわりに教育費、交際費が増えました。物価も上がってますね。田辺さんは給食センターに4月赴任されたばかり。町内小中学生すべての給食の献立をされる。家庭でもバランスに注意してほしい。」
行政改革損得勘定論?—法龍院さんは「初心者テニス教室は絶対お得。民間なら1時間数千円」中年以上の参加者が増えているそうです。山岸さんも「愛好会の会費は月1000円、自分たちで運営しているからできるんです。お医者さんに勧められてきた人もいます。山岸さんは「農業だつてたまたま働きたり、自分たちの労働を人件費と考えなきゃ。」

●来号の表紙

募集 中
私の趣味 を募集します。スポーツ、文化、なんでもかまいません。特集は社会教育アンケートを予定しています。

- ★カットや イラストをかきたい人
- ★4コマ マンガをかきたい人
- ★写真を 撮ってみたい人
- ★インタビューや レポーターをしてみたい人
- ★本の一冊を 紹介してくれる人
- ★簡単な 英訳ができる人
- ★編集に 興味をもっている人

どうぞ気軽にお申し出ください。または、お知りあいを推薦してください。うまいへたは問いません。広報紙づくりにあなたの才能をお貸しください。薄謝ですがお礼致します。〒3101 役場企画開発課広報係 また、楽しい話題やすばらしい人をご紹介ください。

広報で募集しています

〈人の動き〉		前年同月比	前年同月比
3月末日現在	(前月比)	(+)	406
人口	22,172	(+)	188
男子	10,881	(+)	218
女子	11,291	(+)	99
世帯	5,757	(+)	4
3月末日	転入	282	
1日~末日	転出	299	
3月末日	出生	17	
1日~末日	婚姻	20	
1日~末日	死亡	8	

